

## 2022年度しおあなの森保育園事業報告

堺中央共生会しおあなの森保育園が設立して11年目が終了した。今年度は25名が入園し計94名でスタートした。また20名の子どもたちが、しおあなの森保育園で過ごした経験を胸に各小学校へと巣立っていった。

### 1. 保育について

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に努めながら、プール遊び、他園との交流、保護者参加の行事等、取り組むことができ、少しずつ日常生活が戻りつつあった。遠足は、公共交通機関を利用することがはばかられ、徒歩によるものを中心となった。保育内容については、しおあなの森保育園の全体的な計画を中心に据え、保育士会議で評価反省をし、課題克服に向けて取り組んできた。乳児保育会議、幼児保育会議、環境会議、運動遊び委員会、表現遊び委員会を中心に学びを深め、保育を進めてきた。十分に体を動かして遊ぶことができる園庭、新しい運動遊具の活用、菜園活動を通しての食育など、園の特徴を生かした保育を行うことができた。

今年度も子ども達、職員、その家族が感染、または濃厚接触者になり、数回、クラス単位での休園状態となった。子どもたちの健康と安全を第一に考え、コロナ禍の日常生活、今できる遊びを模索しながら過ごした。参観などで保護者に集まっていたくことができないので、送迎時に子どもたちの様子を取った動画を見て頂いたり、クラス新聞で紹介する取り組みを行ってきた。保護者の皆様にはしおあなの森保育園の保育活動にご理解ご協力をいただき、園運営ができたことは何よりありがたいことであった。

来年度は今までできなかった遊びを復活し、豊かな環境の中で生活できるように取り組んでいきたい。

### 2. 延長保育の利用について

今年度朝夕の延長保育利用者は延べ429件あり、今後も保護者の就労状況に伴うニーズに応じていきたい。

### 3. 一時預かり・園庭開放・子育て支援

新型コロナウイルスの感染対策を継続しながら、一時預かりは3件、乳児全戸訪問11件、園庭開放は9回行うことができた。園庭開放では、コロナ禍での開催で少ない参加者ではあったが、サンタさんからプレゼントを直接もらえる体験、めったに出来ないおもちゃ体験ができたことを喜んでいただけた。園の保育や雰囲気を知っていただける機会になるので、今後も園庭開放の内容を充実し、様々な方法で園のアピールをしていきたい。全戸訪問では周辺地域の保護者の方のニーズ(子どもを預けて就労したい)もお聞きした。訪問することで気軽に子育ての相談にも応えることができた。来年度も引き続き、保育園内外の保護者の子育て支援に園全体で取り組んでいきたい。

### 4. 地域との交流について

大仙西、新湊小学校見学に今年度はいくことができた。新湊小学校からは児童による小学校紹介のDVDをいただいた。子どもたちは小学校入学を期待と共に不安な気持ちをもっていたので、心のこもったDVDを見て、安心して就学を迎える手助けとなった、お礼の手紙を小学校に届け、交流をすることができた。また、5才児のデイキャンプでは布袋湯を利用させていただいた。近隣施設への訪問や、小中学校生徒の体験受け入れなどは今年度も見合わせた。

### 5. 研修について

キャリアアップ研修を中心に参加した。また、看護師とともに救命救急の研修は毎年実施している。園内では乳児保育、幼児保育会議、各委員会を通して、しおあなの森保育園の子どもたちに育ってほしい姿を確認しながら、表現、環境、運動遊び等の成果や課題を話し合い、各年齢の保育内容につなげ、少しずつ保育の質向上につながっている。来年度も職員同士での学びあいを大切に、研修等に取り組んでいきたい。

### 6. その他

子どもへの職員の対応、子ども同士のトラブルについて苦情が3件あった。保護者の苦情内容をしっかりと受け止め、その都度改善し、保護者の方に説明をして理解していただくよう努めてきた。